

番号	特定開発事業の名称	特定開発事業を行う土地の位置及び区域	特定開発事業者	特定開発事業の目的	特定開発事業の概要				温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容					再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※1										届出の状況				
					予定建築物の概要				エネルギー使用の合理化	ヒートアイランド現象の緩和	交通環境への配慮	緑の保全と創出	工事に係る配慮	太陽光発電		バイオマス発電・熱利用	その他						特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の目標	特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の結果	工事の着手予定年月日	工事の完了予定年月日	変更(予定)年月日及び変更事項※3	完了(中止)年月日
					棟番号	用途	延べ面積(m ²)	備考						定格出力(kw)	太陽熱利用		潜熱回収型給湯器	温度差熱利用	LED照明設備	ヒートポンプ給湯器	その他設備※2	変更届						
012	桜台団地マンション建替事業(A1ブロック、A2ブロック、B1ブロック、B2ブロック、Cブロック、Dブロック)	横浜市青葉区桜台28番、39番、40番1、40番2、41番1、41番2	桜台団地マンション建替組合 理事長 鈴木 実	1966年竣工の大規模分譲団地の建物・設備の老朽化やバリアフリー上の課題等を受け、団地の再生のために一括建替を行う(A1ブロック：206戸、A2ブロック：168戸、B2ブロック：109戸、Cブロック：148戸、Dブロック：130戸)。	44,635.66	A-1棟 共同住宅 15,644.28m ² 建築面積：3,921.85m ² 構造：RC造一部鉄骨造 地上6階、地下1階	・住宅棟の共用部に積極的にLED照明設備を導入する。 ・B2ブロックに太陽光発電設備を導入する(定格出力11.7kwを予定)(B2ブロック)	・都市緑地法第35条第1項で定められている緑化基準10%を超える緑化を図る(A1ブロック：10.89%・1,550.57m ² 、A2ブロック：11.77%・116.11m ² 、B1ブロック：11.40%・967.64m ² 、B2ブロック：13.62%・910.11m ² 、Cブロック：11.30%・919.58m ² 、Dブロック：11.22%・687.95m ²)。	・駐車場・駐輪場・バイク置場を設置する。 ・電気自動車用充電設備を整備する予定(再掲) ・A2ブロックに自動車の共同利用(カーシェアリング)環境を整備する。	・都市緑地法第35条第1項で定められている緑化基準10%を超える緑化を図る(A1ブロック：10.89%・1,550.57m ² 、A2ブロック：11.77%・116.11m ² 、B1ブロック：11.40%・967.64m ² 、B2ブロック：13.62%・910.11m ² 、Cブロック：11.30%・919.58m ² 、Dブロック：11.22%・687.95m ²)。(再掲) ・開発事業によって生じた裸地・造成法面において在来種(しらかし・くすのき)を選んで緑化を図る	・アイドリングストップを励行する。	●	11.7	△	●	△	コージエネ	・A-1棟(参考)CASBEE横浜による総合評価 B+★★★ ・B-1棟(参考)CASBEE横浜による総合評価 B+★★★ ・B-2棟(参考)CASBEE横浜による総合評価 B+★★★ ・C棟(参考)CASBEE横浜による総合評価 B+★★★ ・D棟(参考)CASBEE横浜による総合評価 B+★★★		2022/9/1	2025/3/31							
013	厚木市猿ヶ島物流計画	厚木市猿ヶ島字片池1番外61番	合同会社厚木猿ヶ島代表社員 株式会社フジ職務執行者 萩本 亨	流通業務施設(輸送、保管、荷さばき、流通加工、その他の物資の流通に係る業務)の合理化を図る施設を建設する。	38,400.43	1 特定流通業務施設(倉庫) 36,477.02 建築面積：12,309.26m ² 構造：RC造・S造 3階	・高断熱建材を用いた建物の断熱化を図った。 ・積極的にLED照明設備を導入した。	・北側にオープンスペースを設置した。 ・条例で定められている緑化基準25%を超える緑化を図った。(27.6%・10,628.56m ²) ・ショートサーキット防止や、歩行者空間へ配慮した、排熱設備の設置とした。	・駐車場・駐輪場を必要分設置した。 ・一般車、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・倉庫運営からトラック入出庫の台数を想定し、十分な荷崩き数・駐車数を計画した。 ・自転車と歩行者の移動位置を区分するなど、自転車の利用環境を整備した。	・北側にオープンスペースを設置した。(再掲) ・条例で定められている緑化基準25%を超える緑化を図った。(27.6%・10,628.56m ²) ・在来種による緑化を図った。	・低燃費型建設機械を積極的に採用した。 ・アイドリングストップを励行した。 ・グリーン調達を積極的に実施した。	△		△	●	△	コージエネ	棟番号1 総合評価 B+以上 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率80%以下 ヒートアイランド現象の緩和スコア3.5以上	棟番号1 総合評価 B+以上 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率70% ヒートアイランド現象の緩和スコア3.0	2023/3/1	2024/6/30	2024/10/15 ・延べ面積 ・建築面積 ・棟番号 ・措置の内容	2024/10/29					

番号	特定開発事業の名称	特定開発事業を行う土地の位置及び区域	特定開発事業者	特定開発事業の目的	特定開発事業の概要				温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容					再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※1										届出の状況					
					予定建築物の概要				エネルギー使用の合理化	ヒートアイランド現象の緩和	交通環境への配慮	緑の保全と創出	工事に係る配慮	太陽光発電		太陽熱利用	風力発電	バイオマス発電・熱利用	その他				特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の目標	特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の結果	工事の着手予定年月日	工事の完了予定年月日	変更届		完了年月日
					棟番号	用途	延べ面積(m ²)	備考						定格出力(kw)	Δ				●	◎	Δ	●					◎	Δ	
014	(仮称)医療法人研水会高根台病院	平塚市高村高21	医療法人研水会 田邊 亨史	平塚市にて、当該高村団地を「地域医療福祉拠点候補地」として設定し、UR都市機構が「UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジョン」と併せて広く事業を募集。医療法人と社会福祉法人が共同にて事業が成立する本法人が、移転新築することを旨とするものである。	1	医療施設	10,777.15	建築面積 3,151.73㎡ 構造：RC造 地上4階	<ul style="list-style-type: none"> ・光庭を設け、自然採光の活用を図る ・サッシは複層ガラスを想定し、断熱化を図る。 ・前面を中心にバルコニーを設置し、日射遮蔽に配慮する。 ・照明設備において、発光ダイオード(LED)利用設備を導入する。 ・熱源設備において、ヒートポンプ冷暖房設備及び全熱交換機を導入する。 ・高効率な給湯設備として潜熱回収型ガス給湯器を導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療施設の敷地は、平塚市まちづくり条例施行規則第53条にもとづき、敷地内緑化率20%以上を確保する。(緑地面積：2,083.08㎡ 緑化率20.61%) ・医療施設は窓上のベントキャップや屋上排気塔を設け、熱が拡散しやすい位置で排熱する。 ・医療施設の敷地は、建築物の見付け面積小等により、風の通り道を確保する。 ・医療施設の敷地は、緑地や水路、通路等の空地オープンスペースの連続性に配慮した、風の通り道を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前面道路沿いのバス停からの歩行者動線確保し、歩車分離を徹底する。 ・事業の目的・用途に応じて、駐車場附属義務以上の駐車スペースを確保する。 ・段差を解消した快適な歩道空間を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の植栽樹種、および平塚市で推奨される樹種を中心に選定し、地域全体の統一感を図る。 ・開発事業によって生じた裸地・造成法面において在来種(クスノキ、サルスベリ、アセビ、ヒサカキ)を選んで緑化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境ラベルのついた建設資材等の積極的な利用を図る。 ・資材輸送における距離の最小化を図る。 ・アイドリングストップなどの省エネ運転・機械操作を徹底する。 	Δ	Δ	●	Δ	コージェネ	<ul style="list-style-type: none"> ・棟番号1 総合評価 B+以上 ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO₂排出率83%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア値3.0以上 ・棟番号9 未定 	2023/3/31	2025/2/28								
					2	物置	11.99	建築面積 11.92㎡ 構造：S造 地上1階																					
					3	給水ポンプ	16.00	建築面積 16.00㎡ 構造：S造 地上1階																					
					4	カーポート	12.50	建築面積 6.00㎡ 構造：S造 地上1階																					
					5	バイク置場	10.90	建築面積 3.13㎡ 構造：S造 地上1階																					
					6	バイク置場	10.90	建築面積 5.54㎡ 構造：S造 地上1階																					
					7	駐輪場	16.61	建築面積 5.54㎡ 構造：S造 地上1階																					
					8	駐輪場	16.61	建築面積 5.54㎡ 構造：S造 地上1階																					
					9	福祉施設	未定	未定																					
					合計		未定																						
015	(仮称)金沢区並木3丁目計画東敷地新築工事(仮称)金沢区並木3丁目計画西敷地新築工事	横浜市金沢区並木3丁目1-1,2-1,2-5	1. 京浜急行電鉄株式会社 取締役社長 川俣 幸宏 2. 京急不動産株式会社 代表取締役 松本 正貴 3. 相鉄不動産株式会社 取締役社長 左藤 誠 4. 総合地所株式会社 代表取締役社長 関岡 桂二郎	共同住宅の新築	1	共同住宅(東敷地)	14,745.48	地上7階/地下0階、RC造 建築面積：2,922.29㎡	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅性能評価における断熱等性能等級4を取得予定 ・住宅性能評価における一次エネルギー消費量等級4を取得予定 ・住戸に庇(バルコニー)を設置し、日射遮蔽に配慮する。 ・潜熱回収型給湯器を導入する。 ・共用部照明設備はタイマー及びセンサーによる制御を行う。 ・LED 照明設備を導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化地域制度に基づいて緑化基準敷地面積の10%以上の緑化を行う。(東敷地1,048.89㎡、14.6%/西敷地1,476.33㎡、13.0%) ・地表面の被覆にあたっては、保水性、透水性の高い被覆材・舗装材を利用する。 ・歩行者空間等へ風を導く建築物の配置、形態とする。 ・緑地や水路、通路等の空地オープンスペースの連続性に配慮した、風の通り道を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車と歩行者の移動位置を区分するなど、自転車の利用環境を整備する。 ・自転車が利用可能な通路等を設置する。 ・歩きやすく快適な歩道を整備する。 ・自動車の共同利用(カーシェアリング)環境を整備する。 ・共同乗込システムを構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化地域制度に基づいて緑化基準敷地面積の10%以上の緑化を行う。(東敷地1,048.89㎡、14.6%/西敷地1,476.33㎡、13.0%) (再掲) ・開発事業によって生じた裸地・造成法面において在来種(アラカシ、ペニカナムエチなど)を選んで緑化を図る。 	Δ	Δ	●	●	Δ	コージェネ	<ul style="list-style-type: none"> ・東敷地及び西敷地(参考)CASBEE横浜による総合評価 B+ 	2023/6/30	2025/7/31								
					2	電気室(東敷地)	36.78	地上1階/地下0階、RC造 建築面積：36.75㎡																					
					3~5	バイク置場(東敷地)	25.85	地上1階/地下0階、S造 建築面積：25.85㎡																					
					6~11	駐輪場(東敷地)	317.50	地上1階/地下0階、S造 建築面積：161.50㎡																					
					12	共同住宅(西敷地)	24,060.02	地7階/地下0階、RC造 建築面積：4,496.96㎡																					
					13	ごみ置場(西敷地)	99.00	地上1階/地下0階、RC造 建築面積：100.95㎡																					
					14	バイク置場(西敷地)	29.28	地上1階/地下0階、S造 建築面積：29.28㎡																					
					15	ミニバイク置場(西敷地)	33.50	地上1階/地下0階、S造 建築面積：33.50㎡																					
					16~29	駐車場(西敷地)	490.32	地上1階/地下0階、S造 建築面積：261.05㎡																					
					30~32	回廊(西敷地)	56.11	地上1階/地下0階、S造 建築面積：56.11㎡																					
合計		39,893.81																											

※1 再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果の表記の説明

- Δ：検討を行った設備
- ：検討を行い、導入を予定している設備
- ◎：検討を行い、全量売電するために導入を予定している設備

※2 「再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果」の「その他設備」欄における表記の説明

- 高効率空調設備：ヒートポンプ技術を用いた高効率の空調設備
- LPガス自動車：ディーゼル代替LPガス自動車
- コージェネ：コージェネレーションシステム(ガスエンジン給湯器及び燃料電池以外で、エネルギー消費効率の高いものに限る。)
- EMS：エネルギーマネジメントシステム(エネルギー消費量の計測、記録及び表示並びにエネルギー利用設備の制御を行う機能を有するものに限る。)

※3 「届出状況」の「変更届」欄における変更事項の表記の説明

- 措置の内容：温室ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容
- 再エネ活用検討：再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果に変更があった場合
- 措置及び評価の目標：特定建築物に係る地球温暖化対策の措置及び評価の目標に変更があった場合